

1 本単元で目指す姿

要素の働き生かした表現を工夫し、伝えたい野菜の変化や成長の様子に合った音楽をつくる子ども

具体的には、音や音楽について、要素（音色、リズム、強弱、反復、変化）とその働きに着目し、とらえたことと自己のイメージとを関連付けて考えるという「見方・考え方」（以下：「音楽的な見方・考え方」）を働かせ、どのように音を音楽にしていかにについて考える力（音楽科②思考力・判断力・表現力）を発揮して音楽をつくる姿。例えば、「私たちは『野菜の気持ち！ミニトマト』という作品をつくりました。まずしゃがんで、みんなで『タン タン タン（ウン）』のリズムを反復して立ち上がります。どんどん大きくなっている様子です。次に、一人一人が順番に『ポポボン』『パパパン』『ピポボン』と言いながら手をグーにします。いろんな大きさのミニトマトがなったのです。最後に、変化で『ブーン』とみんなで言います。声の高さがいろいろで、『いっぱいミニトマトができてうれしいよ』と歌っている音楽です。楽しいミニトマトの音楽ができました。ミニトマトがもっと好きになりました」などと、伝えたい野菜の変化や成長の様子に合った音楽をつくる姿。

2 本単元で育成する資質・能力、そのために子どもが働かせる「見方・考え方」

		「見方・考え方」		
音楽科	○ 音や音楽について、要素（音色、リズム、強弱、反復、変化）とその働きに着目し、とらえたことと自己のイメージとを関連付けて考えるという「見方・考え方」（以下：「音楽的な見方・考え方」）			
	① 知識・技能	② 思考力・判断力・表現力	③ 態度	
	○音楽を形づくっている要素（音色、リズム、強弱、反復、変化）について、音楽における働きとのかかわりに関する知識、声や体を使って出せる音の特徴 ○音楽づくりに関する技能 (声や様々な音の特徴の気付き、音やフレーズのつなげ方の特徴の気付き、即興的な表現、仕組みを用いた簡単な音楽表現)	○体の動きを伴いながら、声と体を使って出せる音で行う音遊びを通して、音楽づくりの発想を得る力 ○どのように声と体を使って出せる音を音楽にしていかにについて考える力	○体を動かしながら楽しく音楽にかかわり、協働して音楽づくりをしようとする態度	
生活科	「見方・考え方」			
	○ 野菜と自分とのかかわりに着目し、自分の生活と関係づけて考えるという「見方・考え方」（以下：身近な生活にかかわる「見方・考え方」）			
	① 知識・技能	② 思考力・判断力・表現力	③ 態度	
	○野菜の変化や成長の様子に関する知識	○野菜の変化や成長の様子について考える力	○野菜への親しみをもち、大切にしようとする態度	

3 単元の計画

次	時	○学習活動	◆働き掛け	☆資質・能力	評価する対象
				・予想される子どもの反応	◎評価
生活科	1 5	○ 育てたい野菜を決め、栽培計画を立てる。 ○ 野菜の苗、育てる場所、道具などの準備をする。	◆ 野菜を育てることを伝え、どんな野菜を育てたいかを問う。	☆生活科①, ツール活用能力 ・培の準備や苗植えをして、おいしい野菜をつくる。 ・場所と道具と野菜の苗が必要だ。	発話, ノート記述
	6 8	○ 育てたい野菜を買う。 ○ 野菜の苗植えをする。 ○ 苗植えの様子や気持ちを絵や文で表現する。	◆ 野菜の苗を買う体験を設定する。 ◆ 苗の植え方で気を付けることを問う。	・ぼくはきゅうりを育てたい。 ・そっと植えよう。茎や葉をいためないように。 ・土に埋め過ぎちゃだめなんだね。	発話, ノート記述, タブレット
	9 13	○ 野菜の世話をする。 ○ 野菜を観察する。	◆ 野菜の成長に必要な世話は何かあるかを問う。	☆生活科①②③, ツール活用能力 生活①②③ ・水やりや草取り、支柱立てなどの必要な世話をする。 ・毎日本水をあげたら大きくなった。 ・大きくなった葉を触ったらざらざらしていたよ。 ・成長の様子をタブレット端末で記録していこう。	発話, ノート記述, タブレット 生活①②③
音楽科	14	○「野菜の気持ち！ミニ劇場」での音楽発表をし、グループで音楽づくり始める。	◆ 音楽をつくるために、条件を確認してから、グループで体を動かしながら行う音楽づくりの時間を設定する。	☆音楽科①②③, 生活科②③, 協働性, ツール活用能力 生②③音①② ・野菜の立場に立って様子とその音楽表現を考える 音楽③ ・体を動かして考えたことを音楽表現にいかそうとする。	発言, 動画 音楽①②③ 生活②③
音楽科・生活科	15	○音楽のモデルを比較聴取し、要素（反復、変化）とその働きによって、イメージが違うことに気付く。	◆ 音楽のモデルA（声あり、ある小節の反復なし、リズムや強弱の変化なし）と音楽のモデルB（声あり、ある小節の反復あり、リズムや強弱の変化あり）を提示し、感じたことを問う。 【働き掛け1】	・変化で野菜のことをもっと伝えたい。 【今日の音楽づくりのめあて】 反復と変化を使って音楽をつくろう	
		○表現の工夫の見通しをもち、条件に合わせて、音楽づくりをする。	◆ 気付いた要素とその働きのよさを問い、条件を整理してから、音楽づくりの時間を設定する。 【働き掛け2】	☆生活科①②, 音楽科②, 協働性, ツール活用能力 生①②音②赤い実がたくさんあるように「ポポボン」を言おうよ。順番に反復して。 ・記録動画を見てみよう。実がたくさんある感じが表現できているよ。	発言, 動画, 楽譜シート 生活①② 音楽②
	16 17	○自分と友達の作品を比較聴取し、新たな工夫の視点をもって音楽づくりをする。	◆ クイズ形式の中間発表会を設定し、気付いたことを問い、音楽づくりの時間を設定する。 【働き掛け3】	☆音楽科①②③, 生活科①②, 協働性, ツール活用能力 音生①声が一人ずつ反復されて、どんどんミニトマトができていくようでした。 音楽③一人ずつ反復すると実が増えていく感じがいい。 音楽②最後の「ブーン」は、一人一人違う高さの声で響かせようよ。 ・記録動画を見てみよう。	発言, 動画, 楽譜シート 音楽①, 生活① 音楽③ 音楽②
	18	○完成発表会で作品を発表する。 ○音楽作品の特徴を振り返り、音楽づくりで発揮した資質・能力を自覚する。	◆ 完成発表会を設定する。 【働き掛け4】 ◆ 音楽作品の特徴を振り返りシートに記述させる。 【働き掛け5】	☆音楽科①, 生活科③ ① 作品「野菜の気持ち！○○○○」を発表する。 私たちは「野菜の気持ち！ミニトマト」という作品をつくりました。まずしゃがんで、みんなで「タンタンタン（ウン）」のリズムを反復して立ち上がります。どんどん大きくなっている様子です。次に、一人一人が順番に「ポポボン」「パパパン」「ピポボン」と言いながら手をグーにします。いろんな大きさのミニトマトがなったのです。最後に、変化で「ブーン」とみんなで言います。声の高さがいろいろで、「いっぱいミニトマトができてうれしいよ」と歌っている音楽です。楽しいミニトマトの音楽ができました。ミニトマトがもっと好きになりました。	動画, 振り返りシート 音楽①②, 生活①③
生活科	19	○野菜を収穫する。	◆ 野菜の収穫の場を設定する。	生活①③ ・毎日世話をしてきたおかげで野菜ができたんだね。 ・育てた野菜はうれしいな。ありがとう。おいしく食べたいな。	生活①③